

メディアネットワーク 最終レポート

1510151 柳 裕太

2017 年 7 月 30 日

1 トップページ URL

Museums

<http://medianet.inf.uec.ac.jp/~y1510151/>

※ CAUTION

学内専用。学外からは VPN 経由のみアクセス可能。

2 概要

2.1 テーマ・趣旨

関東及び東京都内には、多くの博物館や美術館が点在している。更に、一部では学生証の提示で無償あるいは割引で入館できるため、非常に訪れやすい環境が整っている。しかしながら、何処に何を扱う博物館があるのか、或いは何を見るべきなのかが浸透していないのか、あまり訪れる学生が少ないのが現状である。そこで、一都六県、特に東京都内の博物館・美術館を一覧で表示し、公式 HP へのリンクをまとめることで、どの博物館・美術館に行くかを調べやすくする WEB サイト「Museums」を作成することにした。

2.2 閲覧者に提供するもの

一都六県 (主に東京都内) に点在する博物館・美術館の

- 概要
- 外観
- 公式 HP へのリンク

を提供する。また、詳しい情報は公式 HP へのリンクによって得ることが可能。

2.3 ホームページ側のメリット

点在する博物館・美術館を 1 つにまとめることにより、簡単に行きたい所を捜すことが可能となる。また、レビュー (BBS) により、実際に訪れた人の感想といった情報も簡単に得られ、自らも投稿することで行きたい人・行った人によるコミュニティを形成することができる。

3 ページの内容

3.1 トップページ

所蔵している博物館・美術館の外観がページ上部にスライドショーで存在する。また、その下にホームページの説明 (概要、所蔵している施設の説明) が入る。

3.2 博物館・美術館一覧ページ

所蔵している博物館・美術館の外観・概要の一部 (一部冒頭のみ) が入る。概要の文章が長い場合は、後部が省略されて”read more”と続きを読むためのリンクが入る。このリンクを選択すると詳細ページへ遷移される。

3.3 博物館・美術館詳細ページ

各博物館・美術館の詳細が表示される。記述される内容は 2.2 節の通りである。

3.4 レビュー (BBS)

講義内で扱ったレビューをここに適用した。

3.5 アンケート

アンケート内容は以下の通りである。

- 名前
- コース
- 訪れたことがある博物館・美術館
- 今後訪れたい博物館・美術館

なお、上 2 つの項目は講義のままであり、下 2 つの項目はチェックボックスで複数選択・無選択が可能である。

3.6 ログインページ

ユーザ作成機能とログイン機能を併せ持っている。その場でユーザを作成してログインすることが可能となっている。ログインページの内部の情報はほぼ空となっている。

4 各ページの関連・遷移方法

すべてのページに共通してサイドバーにホームページののロゴと各ページ (詳細ページ除く) へのリンク、そしてツイート共有へのリンクが掲載されている。Twitter 以外の共有リンクについてであるが、他のサービスも検討したものの、ホームページの所在がプロキシを経由しているため、実装を断念した。

また、同時に全ページにフッターが設置されており、開発者の連絡先とホームページの概要が記載されている。

5 アピール内容

5.1 面白いと考えた点

5.1.1 アンケートの設問

今回、アンケートとして「訪れた」「訪れたい」博物館・美術館の調査を行った。ここで、講義では扱っていないラジオボタン方式ではなく、チェックボックス形式を採用することで、複数の選択を可能なものとした点が挙げられる。

5.2 工夫した点

5.2.1 チェックボックスによるアンケート質問の集計方法

先述のチェックボックスによる集計方法であるが、以下に調査・結果ページの該当する処理を記述する。

Listing 1 enquete.html: 調査ページ一部

```
1 <label for="kahaku_box_vi" >
2   <input
3     type="checkbox"
4     id="kahaku_box_vi"
5     name="visited[]"
6     value="kahaku_vi"
7   >国立科学博物館
8   <br>
9 </label>
```

調査ページから一部を抜粋した。各設問ごとに name タグの名前の末尾に [] を配置し、各質問における解答を配列化している。

Listing 2 enq_result.php: 結果表示ページ

```
1 $cnt["kahaku_vi"] = 0;
2 $cnt["nmwa_vi"] = 0;
3 $cnt["tnm_vi"] = 0;
4 $cnt["parasite_vi"] = 0;
5
6 $cnt["kahaku_wa"] = 0;
7 $cnt["nmwa_wa"] = 0;
8 $cnt["tnm_wa"] = 0;
9 $cnt["parasite_wa"] = 0;
10
11 while ($csvline = fgets($fp)) {
12     $data = explode(",", trim($csvline, "\n"));
13     for ($i=2; $i < count($data); $i++) {
14         $menu = (string)$data[$i];
15         if (isset($cnt[$menu])) {
```

```
16         $cnt[$menu]++;  
17     }  
18 }  
19 }$
```

集計ページでは、まず各項目の結果を入れる部分を初期化し、その後結果が記録された CSV ファイルを開き、カンマで分割し、記録された該当する変数をインクリメントしている。